令和７年４月１０日

第　３　号

文責：１学年主任(窪地)

***北海道中標津高校　第７９期生***

***１ 学 年 通 信***

**本日から教科科目の授業が始まります。**

**学びは人生を豊かにします。落ち着いた環境で授業に臨み、勉学に励もう。**

入学して３日目、昨日までＬＨＲや学力実態テストなどでしたが、本日の４時間目に１時間、明日からは本格的な６時間授業のスタートです。小学校～中学校の９年間授業を受け続けてきた皆さんのなかには、内心勉強に疲れている人もいるかも知れません。とはいえ、皆さんは『高校進学＝義務教育以上の学び』を選択して、この場に来ています。しっかりと勉学に励んでください。

本来、勉強というものはとても面白いものです。

・今まで知らなかったことを知ることができた。

・今までできなかったことができるようになった。

・これまで分かっていた知識をより深めることができ、できていた技術の練度がさらに増した。

これらのことは学びから得られるものであり、成長・充実へつながることと思います。学びの追求は自らの人生の可能性を広げ、人生を豊かにすることにつながるでしょう。好き・嫌い、得意・不得意は当然あると思いますが、学びに対して一生懸命な高校３年間にしてください。

　授業が始まるに当たって、ある程度の授業に臨むルールを確認しておきたいと思います。昨日の学年通信で『周囲に対する配慮』と伝えていますが、授業は周囲に迷惑をかけていないからと言って、自分の好きなことを好きなようにやっていてＯＫということでもありません。例えば講演会や習い事の発表会を見に行ったとして、その場で自分の好き勝手な行動をしませんよね。それと同じです。

**①　教師(発表者）が説明しているときは、周囲との相談などは止め、聞くことに専念しましょう。**

**「相手の話を丁寧に聞く」ことは、とても大切です。**

**②　机上に出すのは授業に必要なものだけにしましょう。授業中の水分補給(水･お茶)は、いつ行っても構いませんが、水筒など机上に置いておくのではなく、机の横に掛けるなどしてください。**

**③　授業開始のチャイムがなり始める前に、着席を完了しましょう。また、授業終了のチャイムが鳴るまで、教室からは出ないでください。**

**④　多くの授業でタブレット端末を使用することになります。個人のスマホは、原則授業中は使用してはいけません。スマホの使用の必要があれば、教科担任に許可をとりましょう。**

　以上４点以外にも細かく上げればきりが無くなるかもしれませんが、原則としては『周囲に対する配慮』です。判断に迷ったら、周囲や教師に相談してください。授業者（発表者）への敬意も大切なこと。学びに専念できる環境を、教師と生徒が一体となって整えましょう。

　なお、授業ではありませんが、校内放送（放送による連絡）が流れたときも、放送が聞こえるようにお互いが配慮しましょう。『周囲がガヤガヤしていて連絡が聞こえない』『自分に関係ないと思って聞き逃した』ということができるだけ無いようにしましょう。